

《NPO法人古川学人事業》
被災地支援事業
 東日本大震災の津波被害を受けた石巻地域などへの支援事業。

南三陸SAP主催
「歌と笑いの会」
 九月一〇日



南三陸SAP（スマイルア
 ゲインプロジェクト）は、二
 〇一一年七月に創設されたボ
 ランティア団体です。当時の
 宮城県古川高等学校の生徒お
 よび、元校長の鈴木悟氏が中
 心となり結成、東日本大震災
 による甚大な津波被害を受け
 た南三陸町で、住民のみなき

んに笑顔を届ける支援活動を
 継続的に取り組んできました。
 現在は宮城県志津川高等學校
 の関係者の方々と共に、年三
 回、仮設住宅での交流会や南
 三陸の保育所・幼稚園でのク
 リスマス会などを企画運営し
 ています。

今回、吉野作造記念館を会
 場としたイベント「歌と笑
 の会」（企画委員長・石田和
 さん）を開催しました。NP
 O法人古川学人は共催として、
 当日の会場提供の他、リハー
 サルを含むサポート、広報面
 での協力を行いました。

当日は市内からお集まり頂
 いたお客様も合わせ、大いに
 盛況となりました。合唱会や
 ジャンケン大会、宮城大学の
 サークル「宮城大学娘雀」に
 よる雀踊りがオープニングを
 飾った他、市内でレストラン
 を経営するキッチンパパさん
 によるギター弾き語りが好評



でした。みやぎ宝大使で俳優
 の高山広さんによるひとり芝
 居は、確かな演技力と本格的
 な演出で独特の世界観を見事
 に表現し、参加者に笑いと感
 動を届けました。特別ゲスト
 として大崎市のゆるキャラ・
 パタ崎さんも来てくれました。

NPO法人古川学人は、今
 後も笑顔を届ける南三陸SA
 Pへの協力と支援を続けてい
 く予定です。

参加者数…九二名

………

関連する記事

- ・国連防災世界会議↓P1
- ・台湾での「エネルギー政策
 と民主主義」講演↓P20

《NPO法人古川学人事業》
環境デモクラシー事業
 自然や環境について学び、人々のこれからの生活について考えるプロジェクト。

これからのエネルギーを
 考える井戸端会議
 四月一日



太陽光発電や風力発電など
 の自然エネルギーに関する情
 報の共有や勉強会に取り組む
 市民団体「エネシフみやぎ」
 主催、NPO法人古川学人共
 催による勉強会。

チェルノブイリ原発事故を
 契機に脱原発を志し、大手電
 力会社からの圧力と闘いなが
 ら自然エネルギーによる独自
 の電力供給を実現した、ドイ
 ツの町シェーナウの事例をも
 とに、これからのエネルギー

を考えるというものでした。
 シェーナウ取材した映画
 の上映会の後、エネシフみや
 ぎ代表の浦井彰氏と、吉野作
 造記念館の大川真館長の対談
 会が行われました。浦井氏は、
 住民主体の地域再生エネル
 ギー事業は、大手電力会社に
 よる一極集中から脱却する、
 電力の「地方分権化」の試み
 とも言えると語りました。大
 川館長は、シェーナウの住民
 が、地道な戸別訪問による説
 得、原発依存反対を呼びかけ
 るクッキーやTシャツなどの
 グッズなど、様々工夫をこら
 した具体的かつ建設的な行動
 を続けた点を指摘しました。

また浦井氏は、地域再生エ
 ネルギー事業などが盛んな地
 域は、必ず女性が中心にいる
 と指摘。震災を契機に、積極
 的に声を出し、前になる女性
 が増えたとして、会場でも多
 くを占めた地域の女性に対し
 大きな期待を寄せました。

参加者数…三〇名